

新型コロナウイルス感染症について

【厚生労働省ホームページより抜粋】

新型コロナウイルス感染症の現時点で把握している特徴

【2月25日時点】

<感染の仕方>

一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。空気感染は起きていないと考えられています。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどがなくても感染を拡大させるリスクがあります。

・飛沫感染:感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

・接触感染:感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

新型コロナウイルスの感染症対策と相談・受診の目安

国民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。

(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等にご相談ください。

上記のように、新型コロナウイルス感染症は飛沫感染や接触感染でうつるとされており、高齢者の重症化のリスクが指摘される一方で、子どもへの感染事例も発生しています。このような状況から新型コロナウイルスの感染の拡大を防止するために、臨時休校の措置がとられました。したがって、臨時休校中は人の集まる場所を避けるなど、不要不急の外出は控えてください。また、ご家庭でも石鹸による丁寧な手洗いや、可能な限りアルコール等による手指の消毒をお願い致します。

◇医療機関で新型コロナウイルスと診断された場合、また「濃厚接触者」「経過観察者」と保健所等から特定、指示された場合は学校(072-938-0040)に連絡をお願いします。

◇休校中、発熱などの風邪症状が見られた場合は、毎日体温を測定して健康観察表に記入してください。

◇厚生労働省、大阪府、藤井寺市のホームページなどは、日々更新されていますので最新の情報及び正確な情報を知り、感染拡大予防に努めてください。